

7/3(金)第4回検討懇話会 発言要旨

第4回検討懇話会 > 発言要旨（全体）/委員報告

姫路の10年後のあるべき姿・中期方針を実現するための政策案についてご意見をいただいた。一部分野においては、支援領域の追加や、より伝わりやすい表現への修正などご意見をいただいた。

委員報告では、「地場企業の現状紹介」というテーマのもと、創業支援等の事例紹介及び自社調査による現状紹介をいただいた。

7/3（金）検討懇話会 主な発言

全体構成

- 10年後のあるべき姿、中期方針、政策の関係性については整理ができている。ただし、政策の説明文が分かりにくいため、改善が必要。
- 全体としては政策の建付け及び妥当性は十分である。

委員報告

事務局・玉田委員・藤谷委員より、下記のテーマで情報提供後、質疑

- 事務局 事務局報告（地場企業の現状紹介・組合へのヒアリング結果共有）
- 玉田委員 姫路の起業・事業会社～起業プラザひょうご姫路の運営より～
- 藤谷委員 地場企業の現状紹介

質疑

- オープンファクトリーはどのように実施したか。
- 実行委員会形式で開催。対象者は高校生から大学生の若い世代、播磨の企業理解に寄与できれば。金・土で開催したが、工場が土日はクローズしていることが多く、参加者と企業側のスケジュールの擦り合わせが課題。一方、企業側からは若手社員の自社理解に大いに役立ったとの報告も。後発の取り組みだが10年は続けていきたい。
- 外国人材の受入について、地元企業はどのように捉えているか。
- 現場では日本語で指示がスムーズに通らないことが壁となっており、日本語理解が大きな課題。既に受入実績のある企業では住居確保等これまでのノウハウを活かして対応されている。

第4回検討懇話会 > 発言要旨（カテゴリー別）



主に、くらし／人材／創業・事業承継／PR戦略のカテゴリーについて、支援領域の追加についてご意見をいただいた。

7/3（金）検討懇話会 主な発言

くらし 人材

- 若者や女性の雇用環境づくりについては、女性労働力率だけでなく、女性の定着率にも着目すべきである。
 - 昨年行った調査では、20-30代女性の労働力率が他の中核市と比較して低いことがわかった。結婚・出産による離職や非正規化は課題と考えているため、**両面での検討が必要**。
- **アドバンスト人材の育成**については、行政や企業、経済団体及び教育機関などが単独で成し得るものではないとの前提のもと、姫路市の産業特性を踏まえ、**地元企業のニーズに合った・実効性のあるプログラムを検討されるものと理解した**。

創業 ・ 事業承継

- 創業者は高校生・大学生に限らず、社会人経験を経た20代後半から30代も多いため、そうした層への創業支援も残しておくべきことが望ましい。
- **事業承継については「後継者不足」への対応だけではなく、既に存在する跡継ぎ人材の育成・挑戦支援も重要**である。跡継ぎ世代は新しい取組やイノベーションを起こしやすいタイミングにあり、若い世代の活躍の場や支援を政策概要に盛り込むことが望ましい。

PR戦略

- **ターゲット別の魅力発信**では、若者、観光客、域外人材、企業、バイヤー等の外向け発信に加え、**地域内・市民向けの発信も重要**である。市民が姫路の地場産業や市の取組を知らない状態では不十分であり、内向けの発信を位置づけてほしい。
 - （上記意見の補足として）若者や子どもに地元産業を伝えるためには、家族や学校の先生など大人世代が地元の産業を理解していることも重要である

第4回検討懇話会 > 政策一覧 指摘箇所 まとめ(1/2)



No.	カテゴリー	中期方針	政策タイトル	指摘事項
2	くらし	一人ひとりの働きやすさを未来のスタンダードに	若者・女性に選ばれる雇用環境づくり	女性労働力率だけでなく、女性の定着率にも着目すべきではないか。
5	人材	アドバンスト人材の創出と全ての人の活躍促進	若者・学生が集まる産業人材循環の形成	高校生・大学生等が地元企業を知り、ものづくりの魅力を認識する機会を起点に、地元で起業や就職する人材が生まれる。若者の地元企業理解促進は一連の流れで捉えることが重要。
9			アドバンスト人材を育てる学びの基盤形成	企業、教育機関、経済団体がどのように連携し、どのように育成するのかが見えにくい。
12	イノベーション創出	つながり・生み出すシン産業	データや先端技術による新産業創出	政策概要に「検討する」とあるが、単なる検討にとどまらない表現に見直すべき。

第4回検討懇話会 > 政策一覧 指摘箇所 まとめ(2/2)



No.	カテゴリー	中期方針	政策タイトル	指摘事項
14	創業・事業承継	事業のめぐりを豊かにする	地域に活力をもたらす創業の促進	起業プラザひょうご姫路の閉館後も、一般的な創業支援の窓口や支援の位置づけが見えるように。
15			エリアの個性を活かしたにぎわい創出	概要に駅西エリアだけを特筆する必要があるのかは要検討。
16			若者・学生によるチャレンジ創業の促進	起業プラザ兵庫ひめじのマス利用者である20代後半から30代への創業支援が読み取れる記載に。
17			事業承継の円滑化と見える化	「後継者不足」への対応だけではなく、既に存在する跡継ぎ人材の育成・挑戦支援も重要。
18	活力基盤	未来を創る、強い企業の底力	生産性向上と業務変革の推進	政策概要の記載ぶりは要検討（「非付加価値業務」は一方的な評価すぎるきらいがある）
23	PR戦略	来て！見て！買って！	ターゲット別の魅力発信	地域内・市民向けの発信も重要である。